

ふたかみ NEWS プチトマト

ハピバール

ついに増築部分完成です！

陶芸作業を中心におこなう作業室にシャワー室、2階には絵画などを収納する倉庫とこれまでの約1.5倍の広さになりました。

増築にあわせて、外構も少し手を加えてますます素敵になったハピバールにみなさん、気軽にお越しください。お待ちしております♪（西岡）



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



ふたかみ福祉会後援会主催

「第30回チャリティーコンサート」

2026年12月5日(土)開催！！

賛同金のお願い

今回は記念すべき30回目となります。このコンサートで得た収益は、ふたかみ福祉会や地域に還元し、法人の事業や地域福祉の向上に寄与します。つきましては本イベントの趣旨にご賛同いただき、ご支援賜りたく、賛同金のお願いをさせて頂きたく存じます。何卒、本企画にご理解ご賛同いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。（大竹）

【賛同協力料】①団体賛同金 … 1口 3,000円（何口でも可）
②個人賛同金 … 1口 1,000円（何口でも可）

※いただいた賛同金は障害のある方の支援、地域福祉の向上に充てさせていただきます

ご質問等は下記にご連絡ください

ふたかみ福祉会後援会 072-957-4041
チャリティーコンサート・賛同金担当まで

申し込み受け
付けフォーム



「うたごえボランティアさん大募集」

第一部「障害(しょうがい)のある仲間(なかま)とボランティアのうたごえ」一緒に歌っていただける方を募集しています。

練習日 *7月11日(土)*8月11日(火祝)

10:00~11:30 はびきの園 1階食堂にて
他未定(10月1回、11月2回を予定しています)

音楽を通して一緒にコンサートを作っていきたい、ボランティアを通して障害のある人たちと関わりたいなどなど、参加いただける方、下記までご連絡ください。

お問い合わせ：072-958-3232

ハピバール ボランティア担当：波多江(はたえ)

質問等、Instagramで受け付けております→



多肉植物寄せ植え ワークショップ

5月29日で9周年を迎えたハピバールでは、多肉植物の寄せ植えワークショップを開催しました。二日間の開催で11名の参加があり、皆さん楽しそうに取り組んでおられました♪



cafe ハピバール

7月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 4日(土)、18日(土)
20日(月祝)、25日(土)

★Instagram★
[cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar.com)

【お問い合わせ先】072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

2026年5月

* 楠尾薫/田中美希/杉山保/松永匠/森義彦/駒澤由美子/片田登志子/梁誠一/上戸将博
西原俊子/清水一/下原保/荻野松子/平岡俊雄/赤井俊文/森俊介/重信豊和/鎌田修
古谷章/丹羽久子/那須澄子/塩野貴司/山本和美/長谷輝子/畑英作/松本茂樹/安井敏雄
上峠通男/新田耕作/福井良太郎/川井昭徳/森倉昌幸/川原大周/佐野敦/佐藤真弥
樽井直弥/西田千尋 …… 5口
* 東侑佑 …… 4口
* 山田広司/山田恵 …… 3口
* 横山麻紀/南美智/谷真理子/城裕久子/山口元子/戸田勝浩/佐藤裕実/戸田奈保
長井吉久/吉田浩希/宮田裕子/横濱幹子/白石義男/白石恵子/土井寛子 …… 1口

■寄付 河原大周 様

■アルミ缶回収（5月分） …… 586 kg

ありがとうございます

◆2026年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口2,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

個人会費については6月の総会で、2025年度からの会費の改定をしています。

きょうされん

全国総会・国会請願行動に参加して

総会は5月27日に行われました。今年は大阪で全国大会が開かれ、来年は結成50周年という事もあり、大会や記念行事に関する内容が目立ちました。メインキャラクターを描いた高橋良知さんと一緒に大会の紹介をしました。その際に高橋さんが、「キャラクターを描く事を通して絵を描く楽しみが蘇った」と話していた事が印象的でした。大会を通してみんなが元氣になれたら嬉しいです。そして総会の中で多くの課題が提起され、今の世の中の生きにくさを象徴しているように感じました。平和、優生、生活保護などこれをとっても私たちに大きく関わる事です。国の福祉予算が削られ、防衛費が上がっていく事に違和感を覚えます。

次の日は請願行動で、大阪からは32人が参加し、4グループに分かれて42人の国会議員を回りました。以前との変化では野党の議員が極端に少なくなった事を感じました。私は議員本人には会う事は出来なかったのですが、時間をとって待つてくれ

ていた議員も居たと聞いています。私のグループでは会えた秘書に署名を渡し、参加した全員が自分の言葉で思っている事を伝える事が出来ました。残念ながら署名を受け取ってもらえなかった方もいましたが、佐々木りえ議員と松川るい議員は事務所の中で秘書の方が丁寧に話を聞いてくれました。熱心に聞いてもらえた印象ですが、国会の採決の時にどう行動するかが大切な事だと思っています。実際に「党の方針があります」「受け取るかどうか党に確認してから」と答える方もいます。私たちが権者の代表として議員本人がどういうスタンスなのかが大切な事だと思っています。障害当事者の生活が安心できるようになるまで運動は止めてはいけなと再確認しました。 関口こ



進路に役立つ合同説明会

6月20日に高等専修学校で福祉サービス事業所の合同説明会が開催されました。

本会は毎年行われており、進路に悩まれる在校生と保護者を対象に様々な就労系の福祉サービス事業所が一堂に集まり、利用を希望されるご本人と事業所の出会いの機会として行われています。

支援センターはる（南河内北障害就業・生活支援センター）からは、職員2名が相談ブースと講義ブースに分かれて参加し、進路に悩む親子の個別相談や、福祉サービスの種類・障害者雇用についての説明などを行いました。

貴校では、ご本人が支援学校を希望しなかったことで入学に至ったケースや、手帳取得していることをご本人が知らないケースなど、様々な理由で入学された支援を必要とする生徒が半数近くいます。そのような中で教育の現場で求められる対応も多様化しています。

実践現場で活躍されている支援員・事業所と繋がり、夏休み

期間での体験に繋げるこの取り組みは参加者の方々に大変好評いただいています。また参加者だけでなく、教育の現場で活躍される先生方からも「勉強になります」と前向きな声も頂き、大変有意義な時間となりました。

事業所選定は、ご本人の今後の進路においてポイントとなる大事な決断だと思っています。ご本人らしく力が伸ばせる環境で就労に必要なスキルを身につけて頂くことを願っております。そしてご本人もご家族も安心して自立に向けての一步を踏み出して頂けたらと思います。

当センターとしても本会で聞き取ることができました保護者の方やご本人のお声を今後の支援に役立てていきたいと思っています。

（大前）

説明会で使用したスライドの一部

★ポイントまとめ★

- ・就労移行支援 → 2年の内に就労を目指して訓練！
- ・自立訓練 → 自立した日常生活に向けて生活の訓練！
- ・就労継続支援A型 → 雇用契約を結んで通所！
- ・就労継続支援B型 → 自分のペースで徐々に通所！
- ・職業訓練校 → 就職準備に向けて通う学校！



法人30周年とともに新たな一歩を

～2026年度 後援会総会が開催されました～

5月15日、2026年度ふたかみ福祉会後援会総会が開催され、すべての議案が承認されました。

昨年度は個人会費の改定や加入用紙の一新、定期的な加入のお願いなどにより会員数は増加し、古着市や奥能登の復興支援物品販売などの活動を実施したことが報告されました。

法人30周年を迎える今年度は、ホームページやSNSの運用スタートによる情報発信の強化、12月5日開催の30回目となるチャリティーコンサート成功を中心に、さらなる会員拡大と地域とのつながりを目指します。

今後は、若い世代の職員への引き継ぎも進めつつ、職員や家族中心となっている後援会の輪をより地域へと広げられるよう、2026年度の活動を進めていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。（竹田）

交通安全講習に参加して



令和8年4月1日より道路交通法の一部改正が行われ、ニュースでも多く取り上げられていましたが、「自転車等に対する交通反則通告制度」が適用になりました。はびきの園では自転車で通所するなかまもいます。そのため交通安全について学ぶ機会として、5月20日、羽曳野警察署の宮崎さんをお招きして講習をしていただきました。



自動車やバイクは運転免許証が必要ですが、自転車では運転免許証は必要ではありません。しかし、道路交通法上では自転車は自動車のなかまである「軽車両」に分類されます。基本的なルールは自動車と同じということを改めて学びました。また、大阪府は自転車事故で亡くなられた方が全国最多、またヘルメット着用率が5.5%と全国最低と残念な結果ということを学びました。

なかまや職員からの質問コーナーでは、「飲酒運転」が悪質な違反行為になることを学んだ上で、「ノンアルコールを飲んだら乗ったらダメなのか」という質問が出ました。「ノンアルコールは〇、低アルコールは×」なので、パッケージをよく確認してくださいと教えていただきました。なかまや職員からも積極的に質問が出、良い学びとなりました。（田邊こ）

冷たい雨の中、羽曳野市南恵我之荘にある高鷲学園にて、こどもまつりが開催されました。園庭に水たまりができていて、「お客さん来られるのかな」と不安でしたが開場前になるとたくさんの子も達が門のところに並んでくれました。

はびきの園の製菓班商品とアトリエの新商品でなかまの絵がデザインされたポーチやクリアファイルなどを販売。今回はジャムをたくさん買っていただきました。そしてお菓子釣りゲームを出店。大切なおこづかいを使って、狙ったお菓子が釣れた時のキラキラした笑顔が季節外れの寒さで震えていた私たちの心を温かくしてくれました。（本間）

